

国語科学習指導案

自 平成22年10月13日（火）第2校時
 至 平成22年11月1日（月）第4校時
 2年〇組 指導者 宮前 嘉則

I 題 材

〇〇中パワーアップ作戦 ―自慢できる学校にするための提言をしよう―

「根拠を明らかにして書こう―意見を伝える―」（光村図書 2年）

II 題材の考察

1 生徒の実態（男子13名、女子19名、計32名）

生徒たちは、これまでの「書くこと」の学習のなかで、環境問題について調べたことをレポートでまとめたり、小学校の先生に近況を伝える手紙を書いたりしてきた。また、「話すこと・聞くこと」の学習では、聞き手に伝えたい話題を選び、速度や間を意識して、スピーチやブックトークをしたり、相手の気持ちを引き出すようにインタビューをしたりしてきた。このような学習のなかで、マッピングを利用して、情報を集め、伝える目的を考えて取捨選択したり、他者との交流活動を行って、互いにアドバイスをし合ったりすることで、さまざまな角度から考えを広げられるようになってきている。

本校では、毎年6月上旬、校内弁論大会を行っている。学級弁論大会では全員の生徒が意見文を発表し、各学級の代表生徒が校内弁論大会に出場する。国語科で話題設定から構成の段階を指導し、学級活動で清書、発表を行っている。書くことに関する生徒の実態は以下の通りである。

【国語への関心・意欲・態度】

10月上旬の調査では、69%の生徒が文章を書くことに対して苦手意識をもっていることが分かった。その理由として、「何を書いてよいのか分からない」「書いていると途中で混乱してしまう」「書き方が分からない」といった回答をしている生徒が多い。授業の様子からも、課題に対して書こうという姿勢はあるものの、書いてあるものを途中で消したり、作業が止まったりして、仕上がりに大きな差が生じてしまうことがある。

書くことに必要感をもつことのできるような課題を提示し、書く相手や目的を明確にしたり、抵抗なく課題に取り組めるよう、書くためのポイントを明確にしたりする必要があると考える。

【書く能力】

多くの生徒は小学校段階からさまざまな課題を通して、論理的に文章を書く学習を積み重ね、取材力や文章構成力などを培ってきた。しかし、右表の回答結果から、自分の考えを書くために、根拠や文章構成を考える必要があることは分かっているものの、質問項目C、Fの「読み手」への意識に関連した項目で、気を付けなかったという回答が多くなったことから、意図や目的に照らし合わせて、読み手が納得できるような表現にしようとする意識が低いと思われる。

また、今年度の弁論大会の原稿から、以下のような課題が挙げられる。

まず、自分の主張に対して、複数の根拠を挙げているが、それらの根拠が適切なものであるかを十

質問項目	①	②	③	④
A 自分の考えを明確に書く	12	12	6	2
B 主張に合う根拠を探す	16	8	6	2
C 読む人が納得する根拠を選ぶ	2	12	13	5
D 根拠を具体的に書く	8	13	9	2
E 話題の並べ方や構成を考える	5	20	4	3
F 読む人への効果を考えて構成する	4	6	12	10
G 誤字脱字がないようにする	15	12	4	1

分に考えていないと思われる。「変な服装はだらしがない」「いろいろな人と交流すると楽しい」といったような、個人的な感想を根拠にしたものや具体性に欠けているものを根拠としている生徒が多く見られる。

また、読み手に納得させる効果的な構成を考えていない生徒が多い。説明的な文章の学習で、文章構成の工夫について学んできた。「はじめ・なか・おわり」の三段構成で書いたり、書き出しを呼びかけの形にしたりしている生徒は見られるが、根拠を挙げる順序を考えたり、予想される反論や再反論を取り入れたりといった工夫までは至っていない。

モデルとなるような文章を提示し、読み手にとって適切な根拠や効果的な構成は何かを考え、読み手が納得できる文章を書くためのポイントに気付かせ、それを基に自分の表現を効果的なものにさせていきたいと考える。

【言語についての知識・理解・技能】

これまで、相手意識や目的意識をもって、文章を書くことを心掛けてきた。ワークシートを基に、文の種類に応じた書き方を学んできているが、相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることに気付いている生徒は少ないように思われる。意見文では、自分の主張を読み手に納得させるために、適切な根拠を選んだり、効果的な構成を考えたりしなくてはならない。小学校段階から学習してきたさまざまな文章の形態を整理し、文章には、目的や相手に応じた形態や展開があるということに気付かせる必要がある。

2 題材設定の理由

本題材で目指す言語能力は、中学校学習指導要領国語「B書くこと」の第2学年の指導事項「自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること」、「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと」である。これらの言語能力を育成するために、本単元では、意見文を書く学習を行う。

意見文は、自分の考えを読み手に納得してもらい、行動を起こさせることを期待して書かれるものである。まずはそのことに気づき、事実や事柄をさまざまな角度から見つめることで、自分の立場及び伝えたい事柄や事実を明確にもつようにしていく。また、読み手にとって適切な根拠は何かを考え、それらの根拠に説得力が増すように体験や見聞、調査したことなど説明や具体例を加えていくことで、事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるようにする。さらに、根拠を述べる順序や主張の位置、予想される反論とそれに対する再反論などを考える活動を行うことで、構成の工夫を考えられるようにする。

本題材は、以下の理由で、目指す言語能力を育成するのに適した題材であると考えられる。本題材は、自分の立場を決め、根拠を明らかにし、自分の立場に合った根拠を絞り込み、反論に対する意見を考え、絞り込んだ根拠をどんな順序で述べるか整理するといった流れで構成されている。それぞれの段階で、独り善がりの考えにならないように、自分の考えに対するよい点や問題点を考えたり、根拠をさまざまな方法で探したり、根拠を述べる順序や反論と再反論を考えたりといった表現の振り返りを行う必要性を述べている。最後に意見文の例を挙げ、工夫した部分を色で表し、どんな工夫がされているのかについて説明を加え、どんな点を意識して学習すればよいかを明確に示している。

ただ、意見文の例が「外来語を安易に使うことに反対である」という文章で、普段、外来語に対して意識していない生徒たちにとって、書かれている内容のイメージがわきにくいのではないかとと思われる。そこで、生徒たちの書くことの実態を踏まえ、「〇〇中パワーアップ作戦—自慢できる学校にするための提案をしよう—」という意見文のテーマを変えた。このテーマには次のような価値がある。

第一に、身近な学校生活から主張を見つけることは、相手意識や目的意識を明確にしやすく、具体的なアドバイスをし合うことが期待できる。部活動や生徒会活動で2年生中心の活動になる時期である。中学校生活を折り返した時に、学年の仲間に向けて、周囲に自慢できる学校にしていくための提案をすることは、学校生活の現状を見つめる意味でも大いに意味がある。また、学校生活であれば、

さまざまな場면을共有しているのでイメージがしやすい。グループ交流のなかで、主張がそれぞれ違った文章であっても、具体的なアドバイスがしやすいのではないかと考える。

第二に、現実的な課題や表現の場を設けることで、論理的な文章を書くことや互いの表現を何度も振り返ることの必要性を感じさせることができる。自分の表現を常に振り返る必要はあるが、適切な根拠を選んだり、効果的な構成を考えたりと、何度も表現を振り返ることは、学習を飽きさせてしまったり、文章に新鮮さを感じさせなくなったりしかねない。しかし、自分たちの主張で学校を変えていくという現実的な課題であれば、読み手を納得させようと、自他の表現を振り返る必要性が感じられるのではないかと考える。

ここでの学習は、3年時に、「説得力のある文章を書こうー意見を主張するー」（光村図書3年）で、主張を客観的に見直し、より適切な根拠を選んだり、論理の展開を工夫したりして、より効果的な表現を書く学習へと発展していく。

以上のことから、本題材での学習を通して、自分の考えを明確にし、根拠や構成の表現を振り返りながら、「自分の考えを論理的に書く能力」をはぐくむことができると考える。

3 本題材を進めるに当たっての支援等

【「つかむ」過程…表現から考える活動】

- 「自分の主張を学年の仲間に訴え、自慢できる学校にする」という課題によって、相手意識や目的意識を明確にさせ、論理的な文章を書くことの必要性をもつことができるようにする。また、書き上げた文章は、学年集会で発表したり、入学説明会で小学6年生や保護者に提言集を配布したりするといった活用場を設定する。
- さまざまな角度から自分の主張が考えられるように、マッピングを利用したり、二人組の交流を行ったりして、学校生活の現状を見つめられるようにする。
- 自分の考えを論理的に書くためのポイントを気付かせるために、モデルとなる表現を提示し、「書くための秘伝」としてまとめさせる。「書くための秘伝」は、表現を読み合ったり、評価し合ったりする場面で使用する。

【「追究する」過程…表現を読み合う活動】

- 表現をよりよいものにするために、取材・構成の段階で、「書くための秘伝」と照らし合わせて、互いの表現を読み合い、質問や助言をし合うことで、自分の表現をよりよいものにする。
- 表現を読み合う際、「書くための秘伝」を基に質問や助言ができるように、グループ交流の前に、簡単な例を提示して、その根拠を読み手が納得できるものにしていく活動を行う。
- グループ交流で意見が出しやすくするために、グループ交流の方法を明確にする。また、交流中は、前時の「学習プラン表」の記述で支援が必要だと思われる生徒を中心に机間支援を心掛ける。
- 学習を通して表現が変化したことを自覚させるために、ワークシートや付せん紙の修正については、消さずに色ペンで行い、前の表現を残すようにする。
- 正しい表記に注意して清書するために、清書する前に表記のポイントについて確認し、読み手の立場に立つには正しい表記を心掛けることも大切だということを理解させる。

【「まとめる」過程…表現を評価し合う活動】

- 学習の足跡を具体的に振り返ることができるよう、授業で使用したワークシートや一次意見文、二次意見文を1枚の用紙に貼り、1枚ポートフォリオを作成する。
- 自分の表現を客観的に見つめることができるよう、「書くための秘伝」が取り入れられたかどうか教え合い、「振り返りの秘伝」の適切な取り入れ方を自身で確認させる。
- さらなる書くことの学習でのめあてを明確につかませるために、今までの学習を振り返り、「書くための秘伝」チェック表を基に、効果的な表現にするために今後取り入れたい観点は何かを考えさせるようにする。

Ⅲ 目標及び評価規準

1 目 標

さまざまな角度から学校生活を見つめ、自分の主張を明確にし、読み手にとって適切な根拠や効果的な構成を考えたり、より一層効果的な表現にするためのめあてをつかんだりして、読み手が納得できる意見文を書くことができる。

2 評価規準

○学校生活の現状から自分の主張を明確にもち、読み手に納得してもらえる表現にしようと、学習課題に取り組んでいる。 【国語への関心・意欲・態度】

○読み手の立場に立って、適切な根拠にしたり、効果的な構成を考えたりして、自分の主張を論理的に書いている。 【書く能力】

○相手や目的に応じて、文章の展開に違いがあることを理解している。

【言語についての知識・理解・技能】

Ⅳ 指導と評価の計画（全7時間）

過程	時間	学 習 活 動	支援及び留意点	評価項目（評価方法）
つ か む	1	○学習課題を知る。 「○○中パワーアップ作戦－自慢できる学校にするための提言をしよう－」（学年の仲間に600字程度の意見文を書く。） ○学校生活の現状を見つめ、自慢できる学校にするための主張を書く。	○書くことの必要感を高めるために、実生活（学校生活）の課題を設定する。 ○さまざまな角度から課題に気付くことができるよう、マッピングや二人組による交流を行う。	【書く能力】 ○さまざまな角度から学校生活を見つめ、自慢できる学校にするための主張を書いている。（付せん紙）
	2	○自分の考えに対する根拠を付せん紙に書き出す。 ○付せん紙を並べて簡単な構想表を作り、一次意見文を書く。	○自分の考えに対する根拠が複数出せるよう、簡単な例文を挙げて、一つの考えに対して多くの根拠が考えられることを確認する。 ○自分の考えと根拠を基に、構想表を作り、一次意見文を書くよう指示する。	【書く能力】 ○自分の主張を伝えるために、根拠を選んだり、文章構成を考えたりして、意見文を書いている。（一次意見文）
	3	○モデルとなる表現から、読み手が納得できる表現について考える。 ○読み手が納得できる文章を書くためのポイントを、「書くための秘伝」としてまとめる。	○「書くための秘伝」をまとめるために、説得力の乏しい表現Aと説得力のある表現Bを比較し、どちらがなぜ納得できるのかを整理するよう指示する。 ○「書くための秘伝」を基にして、自他の表現を見直すことを確認する。	【書く能力】 ○モデルとなる表現から、読み手が納得できる文章を書くためのポイントを理解し、具体的な言葉でまとめている。（ワークシート）
追 究 す る	4	○根拠に関する「書くための秘伝」を基にして、互いの根拠を読み合い、適切な表現になるように修正する。	○互いの根拠を修正する方法が理解できるよう、簡単な例文を提示し、その根拠を読み手が納得できるものにしていく活動を行う。	【書く能力】 ○「書くための秘伝」を基にして、互いの根拠を読み合い、適切な根拠にしている。（ワークシート）
	5	○修正した根拠を使って、構想表を再構成する。 ○構成に関する「書くための秘伝」を基に、互いの構想表を読み合い、構成を工夫する。	○構想表例を提示し、「書くための秘伝」と照らし合わせ、修正した根拠を使って構想表を再構成するよう指示する。 ○互いの構想表に助言や質問ができるよう、交流活動の方法を明確に指示する。	【書く能力】 ○「書くための秘伝」を基にして、互いの構想表を読み合い、構成の工夫をしている。（ワークシート）
	6	○原稿用紙に記述する際、注意するポイント	○読み手の立場に立つには、正しい表記	【書く能力】

		トを確認し、構想表を基に、自分の主張を二次意見文として清書する。	をすることも大切であると伝え、表記に注意して清書するよう助言する。	○読み手が納得できる根拠や構成を考え、自分の主張を書いている。(二次意見文)
まとめ	7	○互いの原稿を評価し合い、自分の表現を客観的に見つめるとともに、効果的な表現にするための次へのめあてをつかむ。	○次へのめあてを明確につかめるよう、「書くための秘伝」が取り入れられたかどうかを互いに教え合い、それぞれのコメントを整理する。	【書く能力】 ○自分の表現を客観的に見て、効果的な表現にするためのめあてを明確につかんでいる。(付せん紙)

V 本時の展開〈つかむ過程〉第1時(1/7)

1 ねらい

さまざまな角度から学校生活を見つめ、自慢できる学校にするための主張を書くことができる。

2 準備

学習プラン表 ワークシート① 付せん紙(赤) 掲示用資料「活動の流れ」

3 展開

学 習 活 動	支援(○)及び指導上の留意点(*)	評価項目(評価方法)	時間
1 本題材の目標と学習内容を確認する。	<p>○学習課題への意識を高められるように、生徒会活動や部活動で代替わりしたことについて考えるよう指示する。</p> <p>○多くの考えが出せるように、マッピングを行って、学校生活を振り返らせる。</p> <p>○本題材の目標を明確にするために、「学習プラン表」を基に、目標と大まかな学習内容を確認する。</p> <p>○目的意識・相手意識・方法意識を明確にもって学習に取り組めるように、以下の内容を伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・目的…自慢できる学校を作るため ・相手…学年の仲間 ・方法…600～800字の意見文 ・発表会(集会の時間)を行う。 ・提言集にして入学説明会で配布する。 </div>		15分
2 さまざまな角度から学校生活の現状を見つめ、自慢できる学校にするための主張を書く。 (1)学校生活の現状を明	<p>○さまざまな角度から学校生活の現状に気付かせるために、マッピングを使って二人組の交流を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【活動の流れ】</p> <p>①二人組になって、互いのマッピングを</p> </div>	<p>【書く能力】</p> <p>○さまざまな角度から学校生活の現状を見つめ、自慢できる学校にするための主張を書いている。</p>	15分

<p>らかにする。</p>	<p>交換し合い、質問し合う。(ペアを替えて数回行う。)(5分) ②各自のマッピングを広げる。(3分)</p> <p>*問題点の解決というだけでなく、よい点を伸ばしていくという視点からも考えるよう助言する。</p>	<p>(付せん紙)</p>	
<p>(2)学校生活の現状から、自分の主張を考える。</p> <div data-bbox="172 683 491 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>①主張をなかなか付せん紙に書くことができない。</p> <p>②主張があいまいな表現になっている。</p> <p>③記述の仕方にしたがって、的確に書いている。</p> </div>	<p>○自分の主張を明確にもたせるために、マッピングを見直し、一番主張したいと思うところに印を付け、付せん紙に簡潔に主張の内容を書くよう指示する。</p> <div data-bbox="515 683 1048 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生徒に対する具体的な支援】</p> <p>①マッピングに印を付けているかを確認し、「なぜ選んだのか」、「どんな学校になればよいのか」を考えるようアドバイスする。</p> <p>②「要するに何が言いたいのか」を一言で書き表すようアドバイスする。</p> <p>③問題となっている具体的な場面や原因、解決・改善策を考えるようアドバイスする。</p> </div>		<p>15分</p>
<p>3 本時の活動のまとめと自己評価をする。</p>	<p>○学習の取組を振り返らせるために、本時の評価と感想を書くよう指示する。</p>		<p>5分</p>

V 本時の展開〈つかむ過程〉第2時(2/7)

1 ねらい

自分の主張を伝えるために、根拠を選んだり構想表を考えたりして、意見文を書くことができる。

2 準備

学習プラン表 付せん紙(黄色) ワークシート② 原稿用紙(一次原稿用) 掲示用カード

3 展開

学 習 活 動	支援(○)及び指導上の留意点(*)	評価項目(評価方法)	時間
<p>1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。</p>	<p>○「学習プラン表」を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「自分の主張に対する根拠や構想表を考え、意見文を書く」を確認する。</p> <p>○主張と根拠の関係を理解し、主張に対する多くの根拠が出せるように、簡単な例文「A君は部長にふさわしい」を挙げて、根拠を考える活動を行う。</p>		<p>7分</p>

<p>2 自分の主張に対する一次意見文を書く。 (1) 自分の主張に対する根拠を付せん紙に書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の反応】 ○根拠をなかなか書き出すことができない。</p> </div>	<p>○自分の主張に対する根拠をできる限り多く出せるように、思いついた根拠を付せん紙に書き出すよう指示する。 *次時、主張に対する確かな根拠を選ぶ条件を学習するため、ここでは、あいまいな根拠や独り善がりの根拠も認める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒に対する具体的な支援】 ○主張を確認し、その主張にした理由を学校生活の具体的な場面で考えるようアドバイスする。 ○主張が実現したら、どんなメリットがあるかを考えるようアドバイスする。</p> </div>	<p>【書く能力】 ○自分の主張を伝えるために、根拠を選んだり構想表を考えたりして、意見文を書いている。 (原稿用紙)</p>	15分
<p>(2) 付せん紙を並べて、簡単な構想表を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の反応】 ○なかなか作業が進まない。</p> </div>	<p>○一次意見文を書くために、大まかな構想表を作成して、全体のイメージをもつように指示する。 *次時、主張の位置や根拠の順序、反論、文末表現などに気付かせるため、ここでは、自分なりに考えた構想表を作成していくようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒に対する具体的な支援】 ○「はじめ・なか・終わり」の構成で考えてみるようアドバイスする。</p> </div>		7分
<p>(3) 一次意見文を書く。</p>	<p>*この原稿を基に、表現の振り返りを繰り返し行い、第7時のまとめの学習で完成原稿と比較させる。(実態を把握するため、授業後に回収する。)</p>		18分
<p>4 本時の活動のまとめと自己評価をする。</p>	<p>○学習の取組を振り返らせるために、本時の評価と感想を書くよう指示する。</p>		3分

V 本時の展開〈つかむ過程〉第3時(3/7)

1 ねらい

モデルとなる表現から、読み手が納得できる文章を書くためのポイントを理解し、具体的な言葉で「書くための秘伝」としてまとめることができる。

2 準備

学習プラン表 ワークシート③ モデル文A、B 付せん紙

3 展 開

学 習 活 動	支援（○）及び指導上の留意点（＊）	評価項目（評価方法）	時間
1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。	○「学習プラン表」を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「読み手が納得できる文章を書くためのポイントを考える」を確認する。		5分
2 モデルとなる表現から、読み手が納得できるポイントを具体的な言葉でまとめる。 (1)モデルとなる表現から、読み手を納得させる表現とは何か考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験を書いている ・複数の根拠を出している ・具体的な名前や数値を使っている ・たくさんの人が納得してくれる根拠を出している ・最初と最後に主張を書いている ・違う意見の立場になっている ・主張をはっきり書いている ・文末表現を工夫している ・最初から最後まで同じ主張で書いている。 など </div>	○「書くための秘伝」に気付かせるために、 ①モデルとなる表現をA、Bの順に提示し、どちらが相手を納得させる文章であるかを確認する。 ②どうして表現Bが納得できるのかを考えさせ、付せん紙に書き出し、ワークシートに貼る。 ●資料2「振り返りの観点(意見文)」と「モデルとなる表現(意見文・中学校)」参照 ＊「くわしい」や「長い」などの書きぶりの生徒に対して、「どの部分がくわしいのか」「どんな書き方で長くなっているのか」などの問いかけをする。 ＊書くための観点(意見文)に挙げた観点到に気付かない場合は、「書くための秘伝」を整理する際に、注目すべき表現を指摘し、考えさせるようする。	【書く能力】 ○モデルとなる表現から、読み手が納得できる文章を書くための秘伝を、具体的な言葉でまとめている。(ワークシート)	20分
(2)読み手が納得できる文章を書くためのポイント「書くための秘伝」を整理する。	○自分の考えに自信をもったり、新たな考えに気付いたりするために、ワークシートを見せ合い、互いの付せん紙を確認する。 ○各自の理解を深めさせるために、グループごとに発表した観点を、「意見」「根拠」「構成」「その他」に分けて板書し、各自のシートに整理するよう指示する。		20分
3 本時の活動のまとめと自己評価をする。	○学習の取組を振り返らせるために、本時の評価と感想を書くよう指示する。		5分

V 本時の展開〈追究する過程〉第1時（4／7）

1 ねらい

「書くための秘伝」を基にして、互いの根拠を読み合い、他者のアドバイスを参考にしながら、適切な表現にすることができる。

2 準備

学習プラン表 ワークシート①～④ 掲示用資料 付せん紙（青）

3 展開

学 習 活 動	支援（○）及び指導上の留意点（*）	評価項目（評価方法）	時間
<p>1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。</p>	<p>○「学習プラン表」を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容『書くための秘伝』を基に、互いの根拠を読み合い、適切な表現にする」を確認する。</p>		3分
<p>2 「書くための秘伝」を基にして、互いの根拠を読み合い、質疑応答を参考にしながら、より適した根拠にする。 (1) 根拠に関する「書くための秘伝」を確認し、グループ交流の仕方を考える。</p> <div data-bbox="167 1276 486 1668" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> </div>	<p>○活動のなかで常に意識できるように、根拠に関する「書くための秘伝」を掲示し、確認する。</p> <p>○グループ交流が円滑に行えるように、「制服登校より体育着登校の方がいい」という主張に対する根拠を挙げ、適切な根拠にするための助言や質問を考える。</p> <div data-bbox="518 1198 1045 1848" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>①主張に対する根拠を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着替えが大変 ・暑苦しくて気持ち悪い ・汚すとクリーニング代がかかる <p>②一番納得できない根拠を選ぶ。</p> <p>③座標軸の左下に貼る。</p> <p>④それを基準に他を座標軸に貼る。 →<u>各自の根拠を座標軸に貼る。</u></p> <p>⑤納得できる根拠になるように、質問をする。 →<u>実際に例文の質問を考え、教師と質疑応答する。</u></p> <p>「どんな時に着替えが大変だと感じますか？」 「実際に汚ってしまったことはありますか？」「いくらかかりましたか？」</p> </div>	<p>【書く能力】</p> <p>○「書くための秘伝」を基にして、互いの根拠を読み合い、自分の主張に適した根拠にしている。（ワークシート）</p>	13分
<p>(2) 自他の根拠を読み合い、質問や助言をする。</p>	<p>○適切な表現になるように、自他の表現を読み合い、グループで質問や助言をし合う。</p>		18分

<p>【予想される生徒の反応】</p> <p>①交流の仕方が理解できず、交流活動が滞っている。</p> <p>②質問や助言ができない。</p> <p>③具体的な質問ができない根拠を選んでいる。</p>	<p>【生徒に対する具体的な支援】</p> <p>①黒板に提示した交流の仕方について、実際にやりながら説明する。</p> <p>②「書くための秘伝」を基に、実体験があるかどうかの質問や助言をするよう助言する。</p> <p>③付せん紙の根拠でなく、他に考えられる（入れ替えられる）根拠はないか考えるよう指示する。</p>		
<p>(3) グループ活動を参考にして、適切な根拠にする。</p>	<p>○グループ活動の内容を整理するために、質問に対して、どんな答えをしたかを思い出し、付せん紙の近くにメモするよう指示する。</p>		12分
<p>4 本時の活動のまとめと自己評価をする。</p>	<p>○学習の取組を振り返らせるために、本時の評価と感想を書くよう指示する。</p>		4分

V 本時の展開〈追究する過程〉第2時（5／7）

1 ねらい

「書くための秘伝」を基にして、互いの構想表を読み合い、他者のアドバイスを参考にしながら、より効果的な文章構成の工夫をすることができる。

2 準備

学習プラン表 ワークシート①～⑤ 掲示用資料

3 展開

学 習 活 動	支援（○）及び指導上の留意点（*）	評価項目（評価方法）	時間
1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。	○「学習プラン表」を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「『書くための秘伝』」を基に、互いの表現を読み合い、文章構成の工夫をする」を確認する。		5分
2 構想表を見直す。	○前時に修正した根拠を使って、構想表を再構成するよう指示する。		7分
3 「書くための秘伝」を基に、自他の構想表を読み合い、アドバイスを参考にしながら、効果的な文章構成になるよう工夫する。	○グループ交流がスムーズに行えるよう、「制服登校より体育着登校の方がいい」という主張の構想表を提示し、「書くための秘伝」と照らし合わせ、教師の問いに答え、適切な表現にする。	<p>【書く能力】</p> <p>○「書くための秘伝」を基にして、互いの構想表を読み合い、効果的な文章構成の工夫をしている。（ワ</p>	10分

<p>(1) 構成に関する「書くための秘伝」を確認し、各自の構想表を修正する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張を最後にも書いた方がいい。 ・反対の立場について書いた方がいい。 ・呼びかけを入れた方がいい。 <p>(文末表現の工夫をした方がいい。)</p> </div>	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>緊急時に動きにくい</p> <p>非難訓練の時に転んでしまった事件 学校が火事になってしまったら…</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>次に</p> <p>雨の日に汚れてしまった体験 クリーニング代が八百円かかる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>汚すとクリーニングに出さなくてはいいけない</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>理由は次のことから</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>制服登校より体育着登校の方がいい</p> </div> </div> </div> <p>○読み手が納得できる文章構成になるために、各自の原稿を見直し、「書くための秘伝」を基に修正する。</p>	<p>ークシート)</p>	
<p>(2) 修正した構想表を読み合い、アドバイスし合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①構想表が不十分で活発な交流にならない。 ②秘伝を十分意識されていてアドバイスできない。 </div>	<p>○より効果的な構成になるよう、修正した構想表を読み合い、3～4人のグループになって、工夫点や疑問点を伝え、アドバイスし合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒に対する具体的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「書くための秘伝」を基に、どんな工夫をすればよいかを考えるよう助言する。 ③「書くための観点」と照らし合わせながら、新たに取り入れたい点を言うよう助言する。 </div>		18分
<p>(3) アドバイスを参考にしながら、読み手を納得させる効果的な文章構成にする。</p>	<p>○グループ交流でのアドバイスを生かして効果的な文章構成にするために、アドバイスを取捨選択して、付せん紙に書き加えたり、新たに書いたりして、構想表を修正するよう助言する。</p>		7分
<p>3 本時の活動のまとめと自己評価をする。</p>	<p>○学習の取組を振り返らせるために、本時の評価と感想を書くよう指示する。</p>		3分

V 本時の展開〈追究する過程〉第3時（6／7）

1 ねらい

読み手が納得できる根拠や文章構成を踏まえ、表記に注意して自分の主張を論理的に書くことができる。

2 準備

学習プラン表 ワークシート①～⑥ 原稿用紙

3 展開

学 習 活 動	支援（○）及び指導上の留意点（*）	評価項目（評価方法）	時間
---------	-------------------	------------	----

1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。	○「学習プラン表」を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「読み手が納得できる根拠や文章構成を踏まえ、自分の主張を論理的に書く」を確認する。		5分
2 原稿用紙に書く注意点を確認し、読み手が納得できる根拠や文章構成を踏まえ、自分の主張を清書する。	○読み手の立場に立つには、正しい表記をすることも大切であることを伝え、ワークシート⑥（表記のチェック表）で原稿用紙の書き方を確認する。 ○構想表を基に、表記に注意しながら、原稿用紙に自分の主張を清書する。	【書く能力】 ○読み手が納得できる根拠や文章構成を踏まえ、表記に注意しながら、自分の主張を論理的に書いている。（原稿用紙）	40分
【予想される生徒の反応】 ①原稿用紙に正しく書けていない。 ②修正した構想表を見て、原稿が書けない。（アドバイスを取り入れられない。）	【生徒に対する具体的な支援】 ①表記のチェック表と照らし合わせて、どの部分が間違っているかを支援を行う。 ②書くのが止まっている部分はどこで、どんなアドバイスを受けたのかを確認した後、モデルとなる表現を用いて、具体的な表現の仕方を示す。		
3 本時の活動のまとめと自己評価をする。	○学習の取組を振り返らせるために、本時の評価と感想を書くよう指示する。		5分

V 本時の展開〈まとめる過程〉第1時（7/7）

1 ねらい

互いの一次原稿と二次原稿を比較して、自分の表現を客観的に見つめ、効果的な表現にするためのめあてをつかむことができる。

2 準備

学習プラン表 ワークシート 学習振り返りシート（1枚ポートフォリオ）

3 展開

学 習 活 動	支援（○）及び指導上の留意点（*）	評価項目（評価方法）	時間
1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。	○「学習プラン表」を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「自分の表現の変化を自覚し、効果的な表現にするめあてをつかむ」を確認する。		3分
2 今までの学習を振り返り、効果的な表現にするためのめあてをつかむ。	○自分の表現を客観的に見つめることができるように、一次意見文と二次意見文を比較し、「書くための秘伝」が取り入れられたかどうかを教え合う。	【書く能力】 ○今までの学習を振り返り、自分の表現を客観的に見つめ、効	27分

<p>(1) 書き上げた互いのめ原稿（一次原稿と前時の原稿）を評価し合う。</p> <p>【多目的室での学習】</p>	<p>【グループ交流の仕方】</p> <p>○「書くための秘伝」チェック表を基に、うまく取り入れられているところは黄色の付せん紙、もっとこうすればいいと思うところは青の付せん紙に書き、シートに貼る。</p> <p>*付せん紙に書く内容を例示する。</p> <p>*今まで交流を行ってきたグループの原稿については、必ずコメントを書くよう指示する。</p>	<p>果的な表現にするための次へのめあてをつかんでいる。（ワークシート）</p>
<p>【予想される生徒の反応】</p> <p>①付せん紙が書けない。</p> <p>②コメントが具体的に書かれていない。</p>	<p>【生徒に対する具体的な支援】</p> <p>①二つの原稿を比較して、変わった部分を考えさせ、「書くための秘伝」のどの観点になるかを明確にさせる。</p> <p>②「書くための秘伝」のどの観点がうまく取り入れられるようになったかを具体的に書かせる。</p>	
<p>(2) 互いのコメントを整理し、自分の表現の変化を振り返る。</p>	<p>○自分の表現を客観的に見つめさせるために、コメントが書かれた付せん紙を整理し、どの観点を意識して書くことができたかを、チェック欄に「◎」印で記入するよう指示する。</p>	<p>7分</p>
<p>(3) 効果的な表現にするための次へのめあてをつかむ。</p>	<p>○次へのめあてを明確にもたせるために、「書くための秘伝」のチェック欄を基に、効果的な表現にするための、次へのめあてを、チェック欄に「●」印で記入するよう指示する。</p> <p>○学習のまとめをするために、「1枚ポートフォリオ」全体を見ながら、今までの学習を振り返り、学んだことを付箋紙に記入するよう指示する。</p>	<p>10分</p>
<p>3 本時の活動のまとめと自己評価をする。</p>	<p>○学習の取組を振り返らせるために、本時の評価と感想を書くよう指示する。</p> <p>*書き上げた原稿は、学年集会で順番に発表することと、提言集として新入生説明会で小学6年生や保護者の方に配布することの確認をする。</p>	<p>3分</p>

